

Victory

NO.9

令和7年12月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

*学校HP>学校図書館>#図書館の日常随時更新中

師走です。

「今年もあと〇日」と指折り数える頃となりました。

文化的な側面からは芥川賞・直木賞候補作の発表があり、流行語大賞、今年の漢字も発表、大河ドラマも最終回など、またスウェーデンの首都ストックホルムではノーベル賞授賞式もありました。

この時期ならではの行事ではありますが、その中身はどれ一つとして同じ物はありません。当たり前のことがですが、今年を振り返ると同時に、来し方も同様に振り返り、社会の流れを感じる機会にしたいものです。そのうえで自分の思考、視点を改めて見つめなおすこともおすすめします。

充実した冬休みを。

確認

返却はおすすめですか？



先日、返却期限を過ぎている生徒への返却催促状を配付しました。

未返却の人は、早急に返却を済ませて下さい。

学校図書館の本は、公共物です。本校生徒・先生方すべての利用者のためのものであることを再認識しましょう。



長期貸出のお知らせ

本の世界を旅するのにいい季節。

図書館でお供の一冊を借りましょう。

◎貸出期間：12月15日（月）
～26日（金）

◎貸出冊数：無制限

◎返却期間：令和8年1月6日（火）
～9日（金）厳守

冬期の長期
貸出始まっ
てます。

寒い冬、あなたの心をぽかぽかにする
本、どっさりあります。

貸出期間
12月15日
～26日

貸出冊数は、
無制限

図書委員会
主催

上映会を行います。

冬の上映会のお知らせ

今年もやります！
学校最終日に、映画で
盛り上がりませんか？

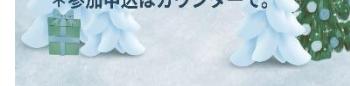
日時：12月26日（金）
午後1時半～

場所：閲覧室

映画：『もしも徳川家康
が総理大臣だったら』

ランチしながら、映画も
いいんじゃない？

*参加申込はカウンターで。



今年も実施します。

先月実施したアンケートの結果、今回上映するのは、『もしも徳川家康が総理大臣だったら』（眞邊明人著 サンマーク出版 2021）に決定しました。
たくさんの参加お待ちしています。

*日時：12月26日（金）午後1時半～

*場所：図書閲覧室

*参加人数：30名

*申込：12月24日（水）までに図書館カウンターで受付ます。

◎学習会終了後なので、ランチ可。

なお、あたたかい飲み物とお菓子を用意します。

ライブラリィカフェ報告

12月16日（火）に、三省堂辞書出版部長山本康一氏をお迎えし、座談会「言葉の海を泳いでみる」を実施しました。

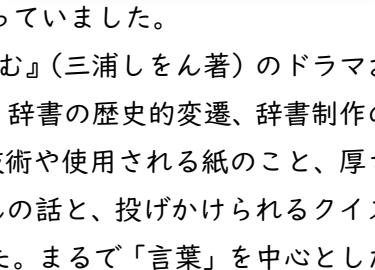
「言葉」に興味関心のある生徒37名と先生方が参加した2時間越えの座談会はあっという間の時間でした。座談会終了後も数名の生徒が質問している姿も、今回の座談会の熱量を物語っていました。

500枚におよぶスライドを元に、話は『舟を編む』（三浦しをん著）のドラマおよび映画の制作現場でのエピソードから始まり、辞書の歴史的変遷、辞書制作の流れ、国語辞典の種類、辞書編集者とは、印刷技術や使用される紙のこと、厚さ8センチの壁（！？）、…などなど、盛りだくさんの話と、投げかけられるクイズや問い合わせに参加者全員引き込まれていきました。まるで「言葉」を中心としたマインドマップが描かれていくかのようでした。（探究のテーマ設定もこんな形で可視化すると、自らの研究の方向性を客観的に捉えられるだろうと感じました。）

印象深かったのは、辞書は学び伝えるための道具であるということ。また、辞書編集者はいついかなる時でも言葉の観察（すなわち用例採集）をし続けているということ。そして集めた言葉の中から、10年は残る言葉を掬いあげること。選ばれた言葉が原稿になるまでに多いときで7回も缶詰状態で校正を行う、それは

まるで言葉に操られる奴隸のようだと話されながらも、どこか嬉しそうな表情が印象的でした。言葉を、辞書を編む仕事を愛されていることが伝わってきました。

また、編集者（出版社）によってもその編者独特的の持ち味が、意味や用例の語釈にじみ出てくることも辞書の奥深さを感じます。一つの言葉を引き比べることを試



してみてください。

さらに、新語3500語を採用したら、1000語を削除して版を重ねていく、つまり社会の変遷とともに、当然のことながら使われなくなる言葉は、自然消滅してきたのこと。その状況から生まれたのが、『消えたことば辞典』（三省堂）だそうです。早速、参加した生徒からもリクエストがありました。



紙の辞書は、図書館と似ていると改めて思います。“目的の言葉を引く→探す→前後（あるいは左右）の言葉が目に入ってくる→新たな言葉への興味が沸く→出会う→言葉が増える”このプロセスは、まさに図書館で本（情報）を探す時そのものです。目的の情報を得るための作業（行動）が、副産物として複数の多角的情報を得ることにつながります。一見遠回りのようですが、その作業が自らの知の引き出しを増やすことにつながります。

今後も、ワクワクするようなライブラリィカフェを企画していくので、楽しみにしていてください。

セレクトしてみました。

この冬、3つのセレクションから本を選んでみたら？ 家の中で過ごすことの多いこの時期に、いつもより少し長めの物語世界や人文学系・社会関係の本、大いなる自然科学分野の本を読んでみませんか？

「今、話題」の本ではないけれど、手に取ってほしい本を集めています。

右のポスター（他2枚）を目印に、西側開架書架コーナーへ Let's go!!! 「人文・社会科学」→

